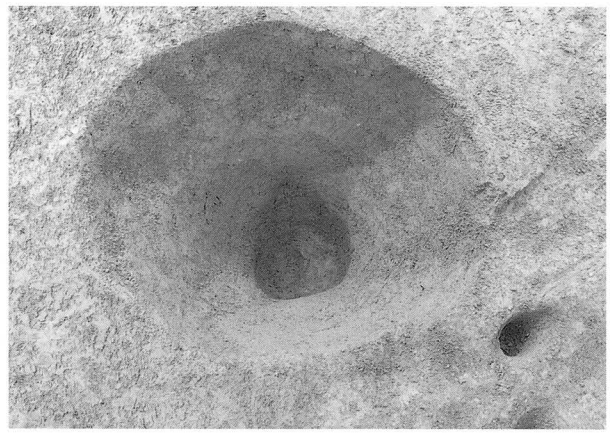
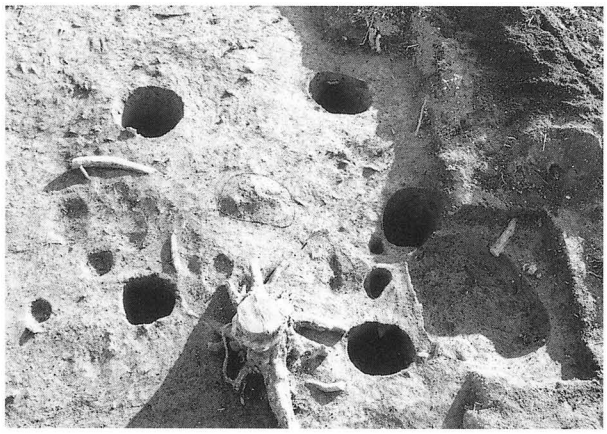
1区　SI04　遺物出土状況（北より）

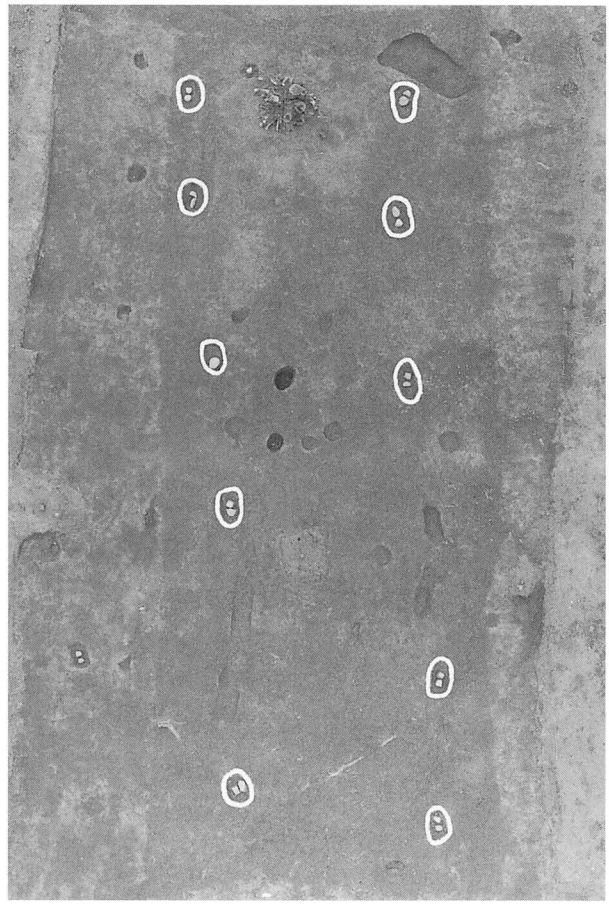


1区　SI04　内P1　完掘状況（南より）

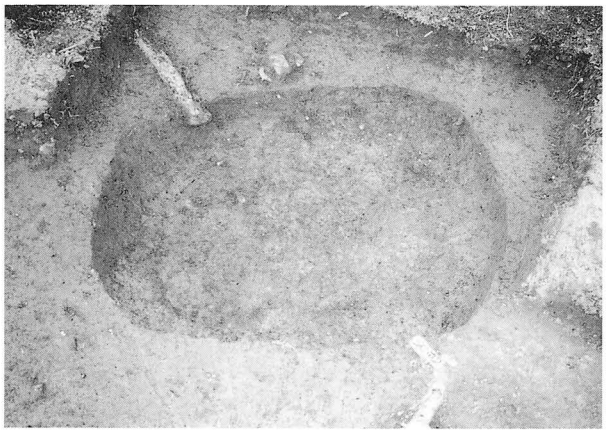


1区　SI05　完掘状況（北より）

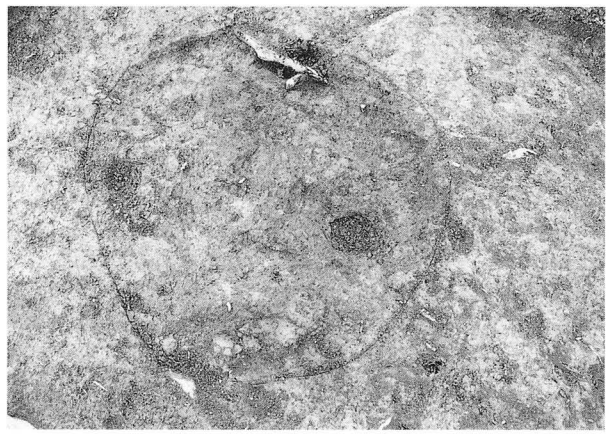
1区　SI05　P3　完掘状況（東より）



1区　ピット列（北より）



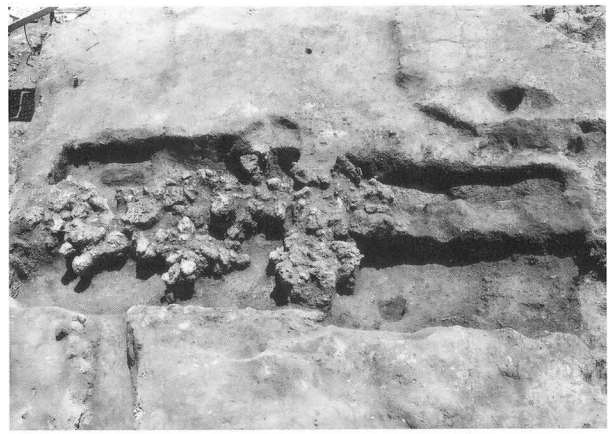
1区　SK09　完掘状況（東より）



1区　SK10　完掘状況（南より）

2区調査区全景（上より）

2区1号炉完掘（北より）

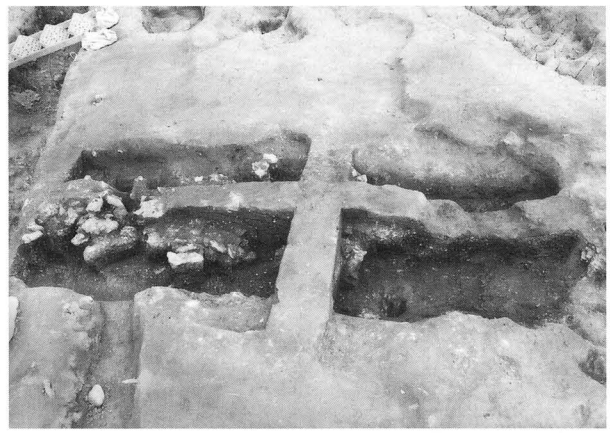


2区1号炉鉄滓・炉壁出土状況（北より）

2区1号炉焼土面確認状況（北より）

2区1号炉炭層確認状況（北より）

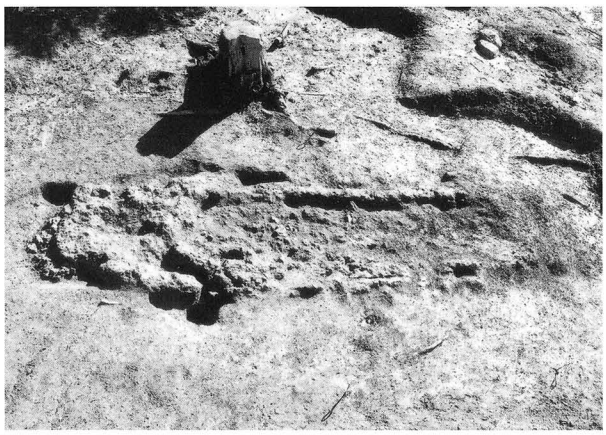
2区1号炉縦断土層セクションc-c'（南より）



2区1号炉縦断土層セクションd-d'（北より）

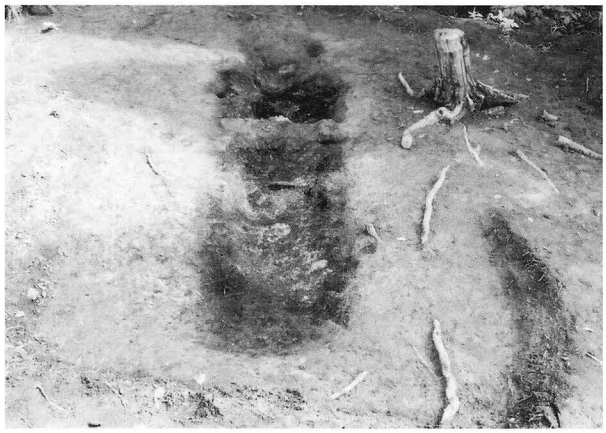
2区1号炉横断土層セクションa-a'（西より）

2区1号炉横断土層セクションb-b（西より）

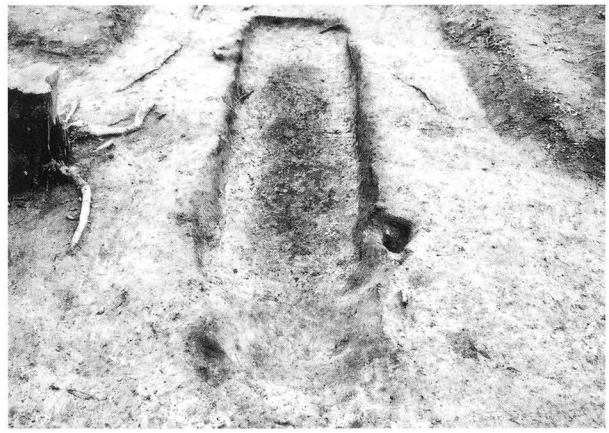


3区2号炉炉床確認状況（北より）

3区2号炉横断土層セクションb-b'（西より）

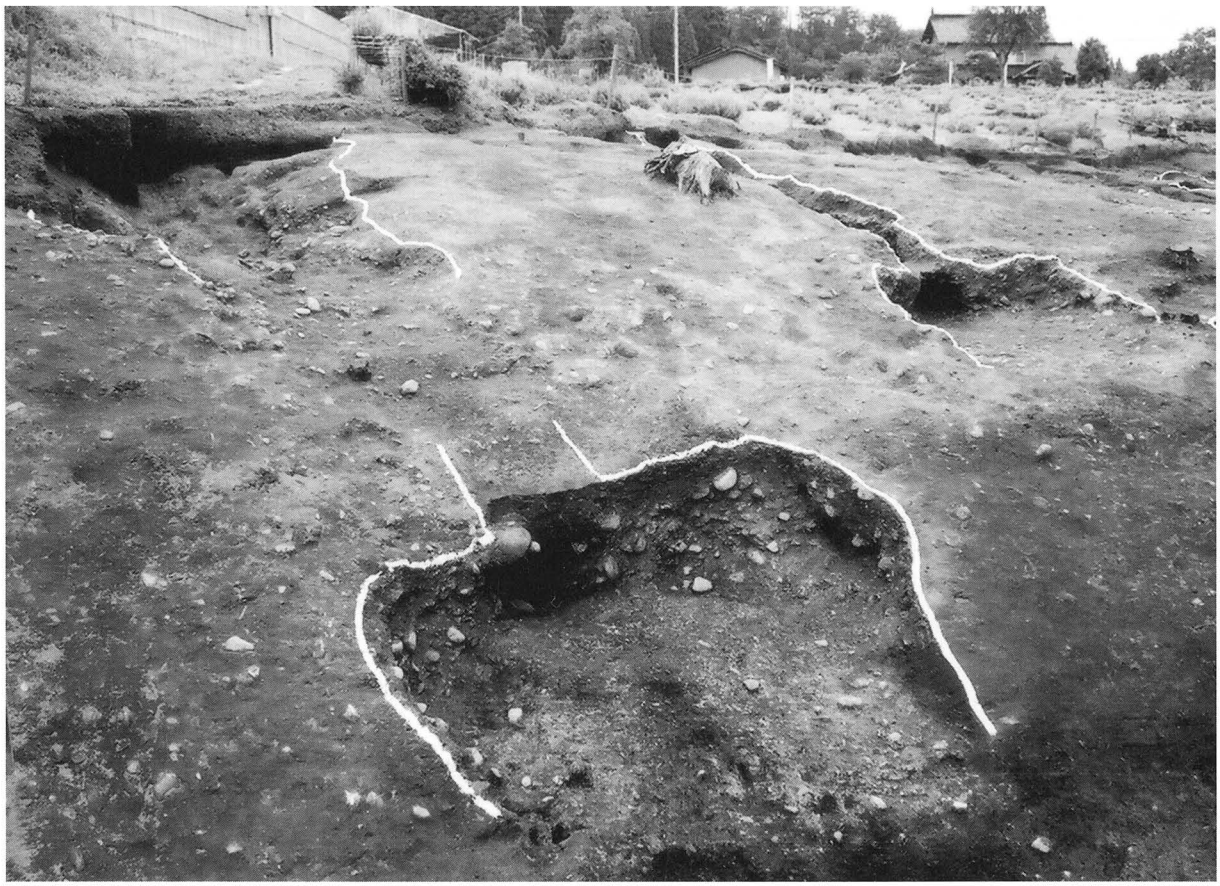


3区2号炉炭層確認状況（西より）



3区2号炉完掘（東より）

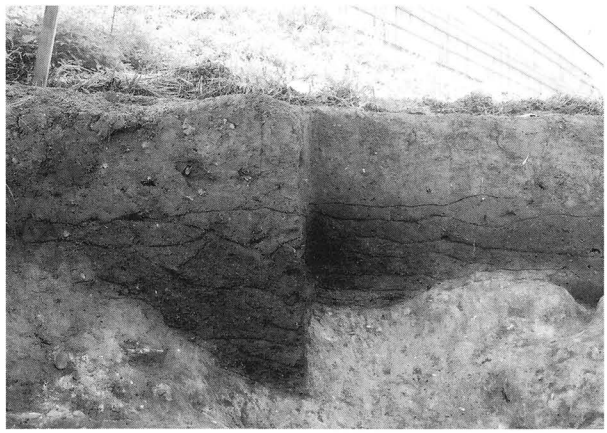
図版10



2区1号窯、4号窯前庭（手前）、2号窯完掘（奥）（南東より）

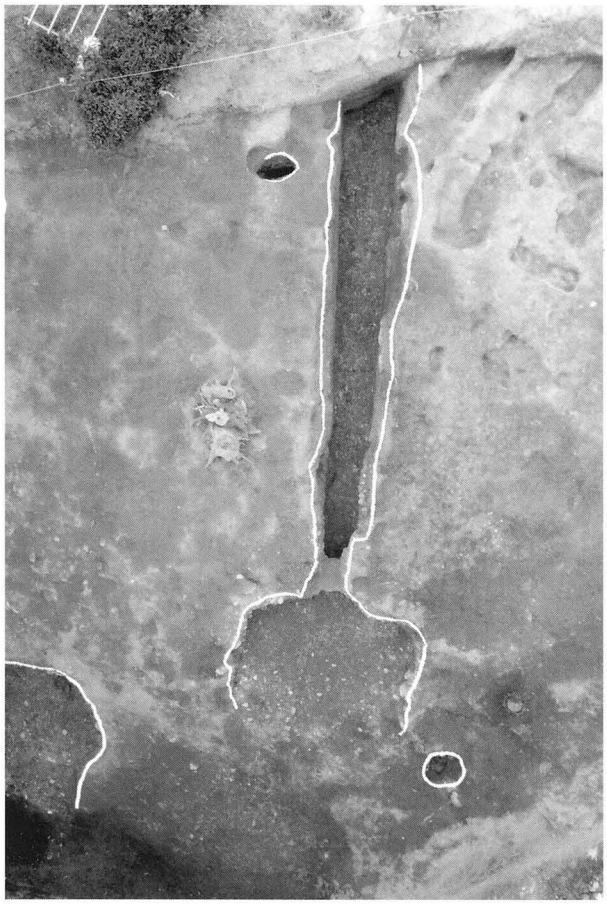
2区1号窯縦断土層セクションa-a'（北より）

2区1号窯縦断土層セクションa-a'西側（北より）



2区1号窯横断土層セクションb-b'、c-c'（東より）

2区1号窯縦断土層セクションd-d'（東より）



2区2号炉完掘状況（上より）

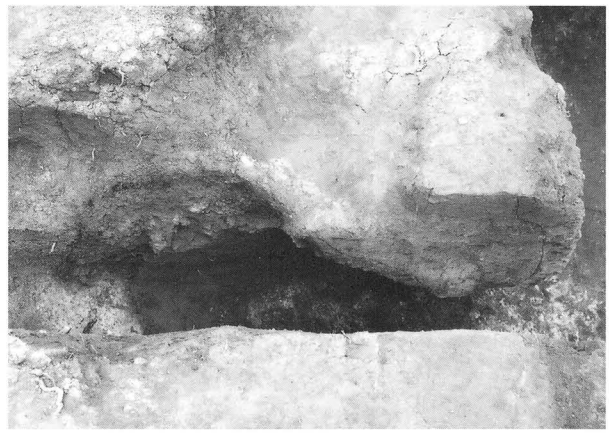
2区2号窯横断土層セクションc-c'（東より）

2区2号炉横断土層セクションd-d'（東より）

2区2号窯横断土層セクションf-f'（東より）

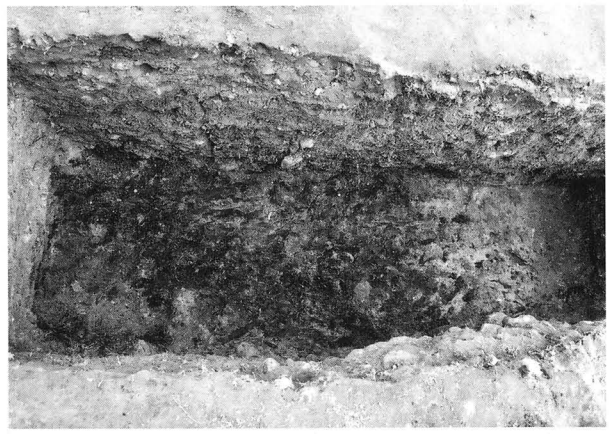
2区2号炉焚き口横断土層セクションe-e'（東より）

2区2号窯　窯壁残存部（北より）

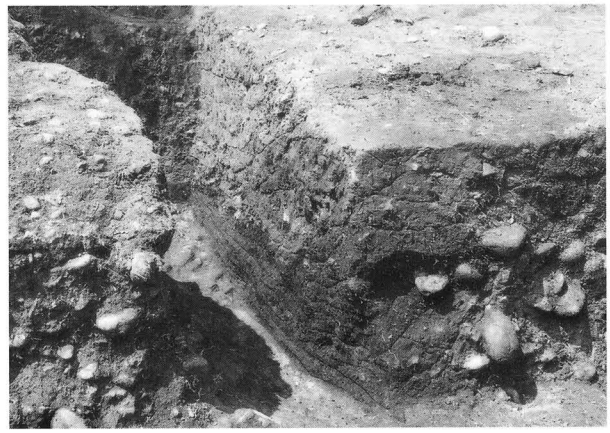


2区2号窯　煙道断割り（東より）

2区4号窯完掘（北東より）



2区4号窯炭化材出土状況（上より）



2区4号窯焚き口縦断土層セクションa-a'（北東より）

2区4号窯横断土層セクションf-f'（東より）

2区4号窯横断土層セクションe-e'（東より）

2区4号窯煙道（南東より）

2区4号炉煙道断割りd-d'（南東より）

3区　5号窯　完掘（北東より）

3区　5号窯横断土層セクションd-d'（東より）

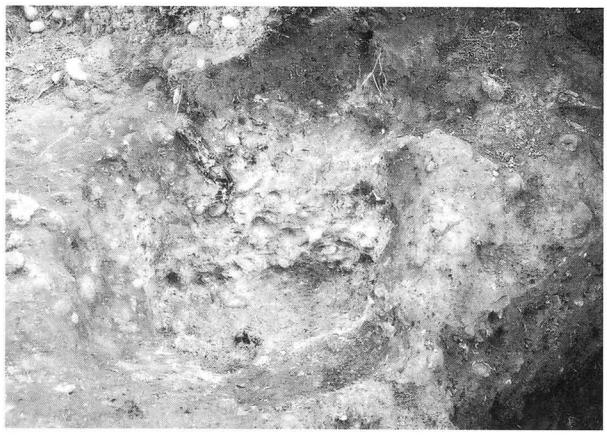
3区　5号窯横断土層セクションc-c'（東より）

3区　5号窯縦断土層セクションa-a'（南東より）

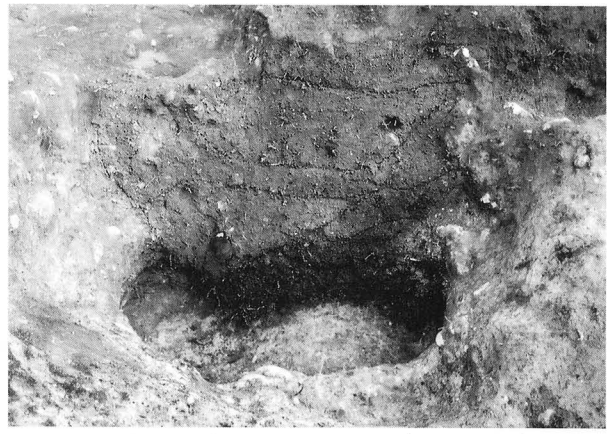
3区　5号窯横断土層セクションb-b'（東より）

2区SK01　完掘（南東より）

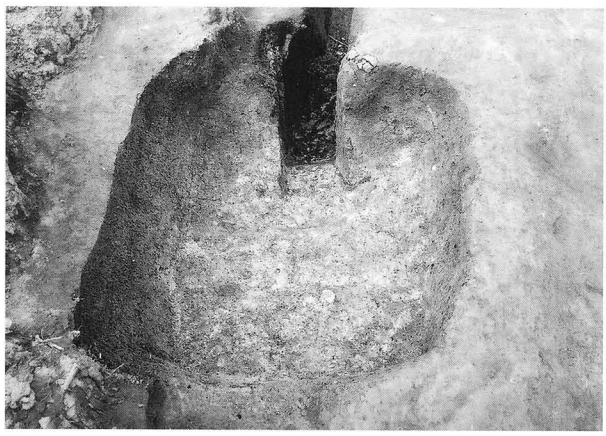
2区SK01土層セクションa-a'（南西より）



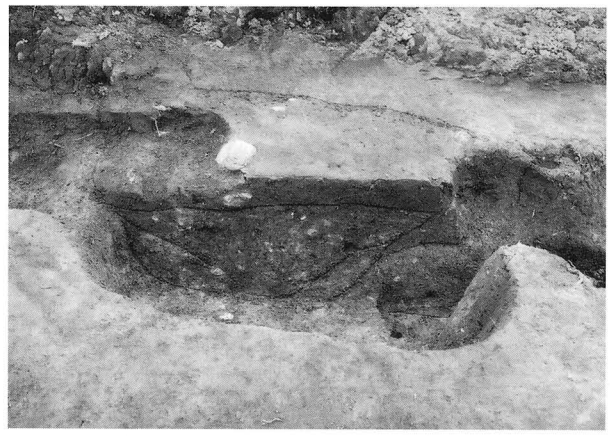
2区SK02　完掘（北西より）



2区SK02土層セクション（南西より）



2区SK03　完掘（南より）



2区SK03土層セクション（東より）

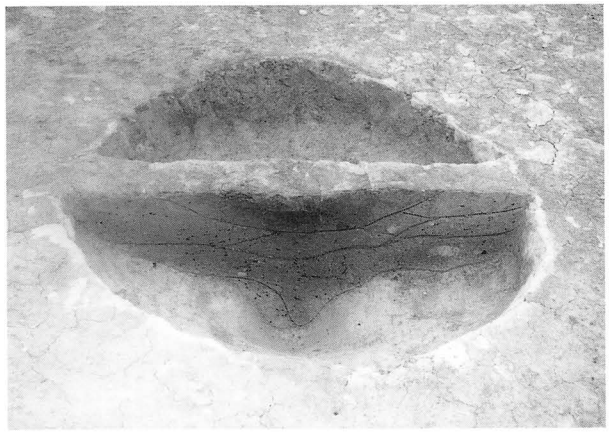
2区　P3,4,5

2区上層　撹乱跡（山芋栽培跡）

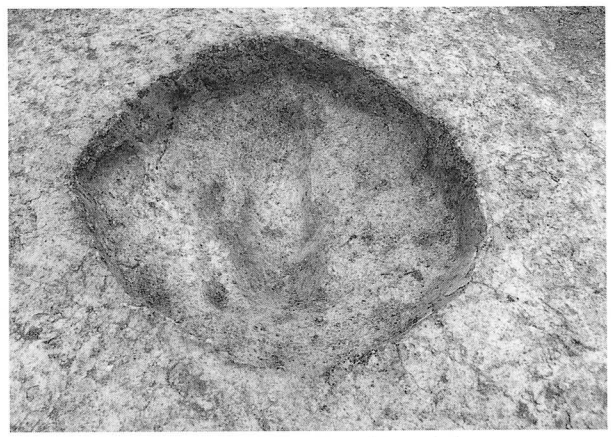
調査風景（上層掘削）

調査風景（4号窯）

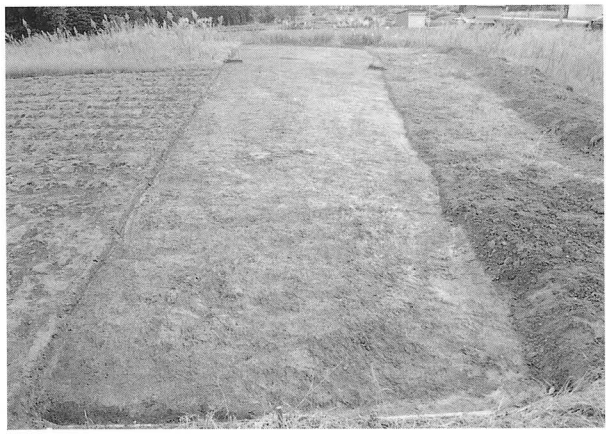
池多南Ⅱ遺跡遠景（西より）



SK01　東西土層セクション（北より）



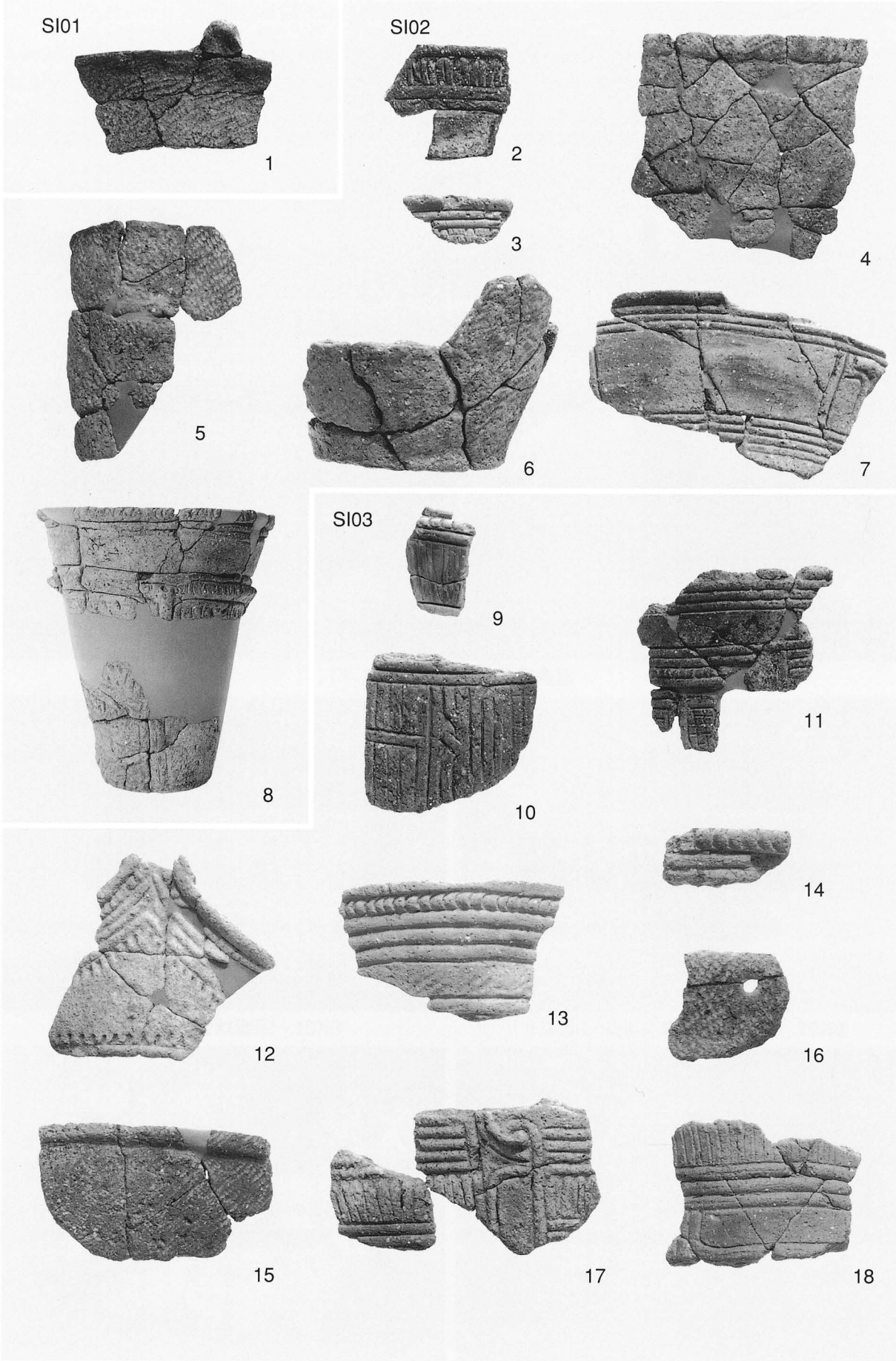
SK01　完掘状況（北より）



SK01　完掘状況（北より）

調査参加者

図版16　池多南遺跡



SI04

19

20

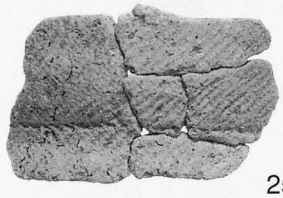
21

22

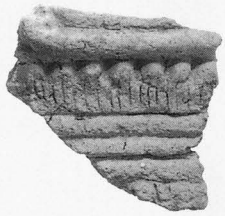
SI05

23

24

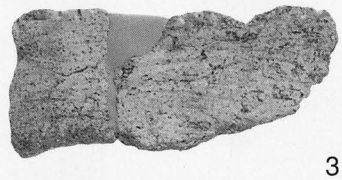

25

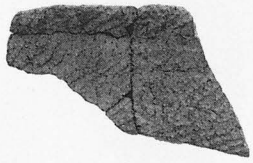
28


27

26

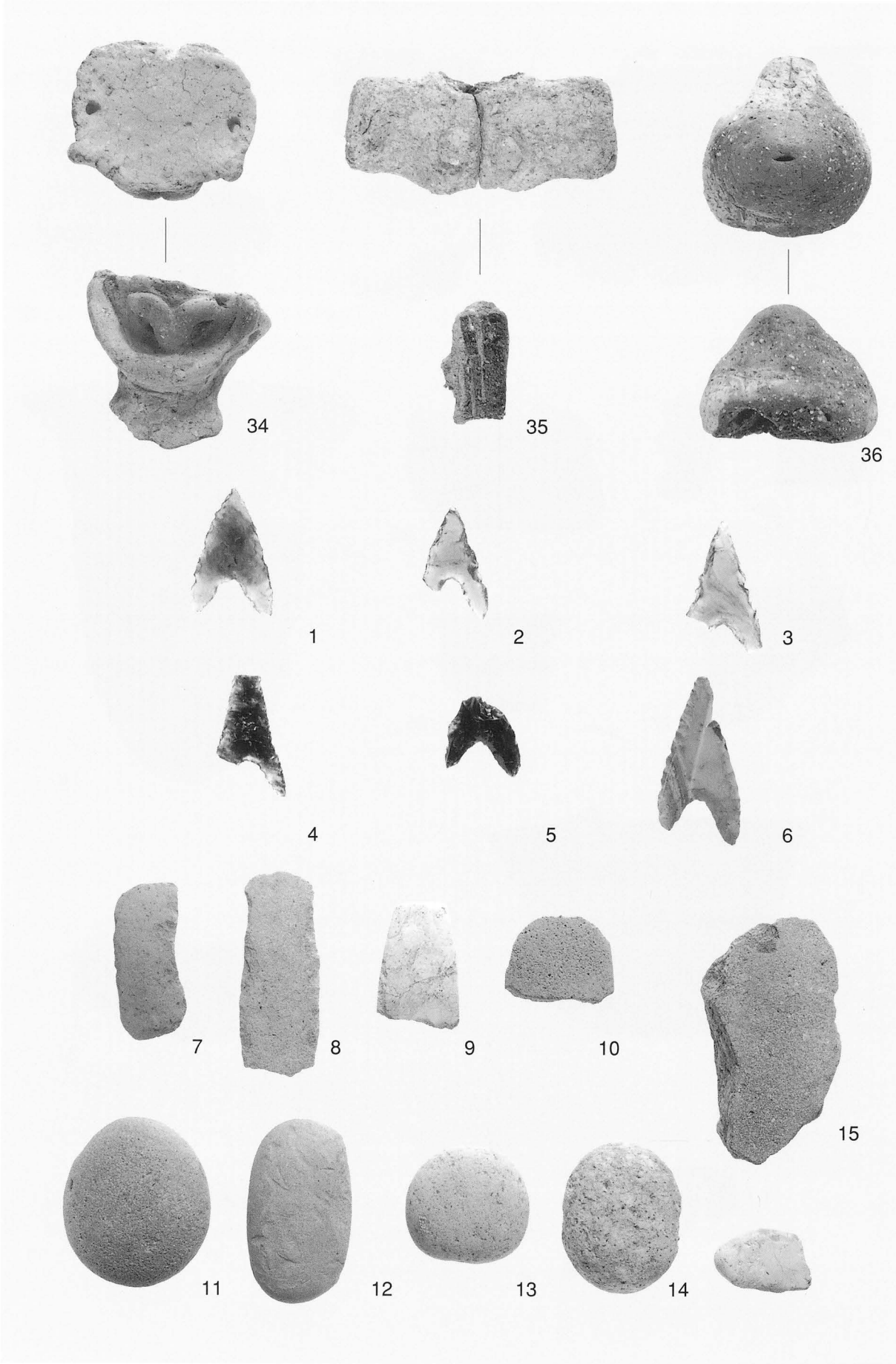
29

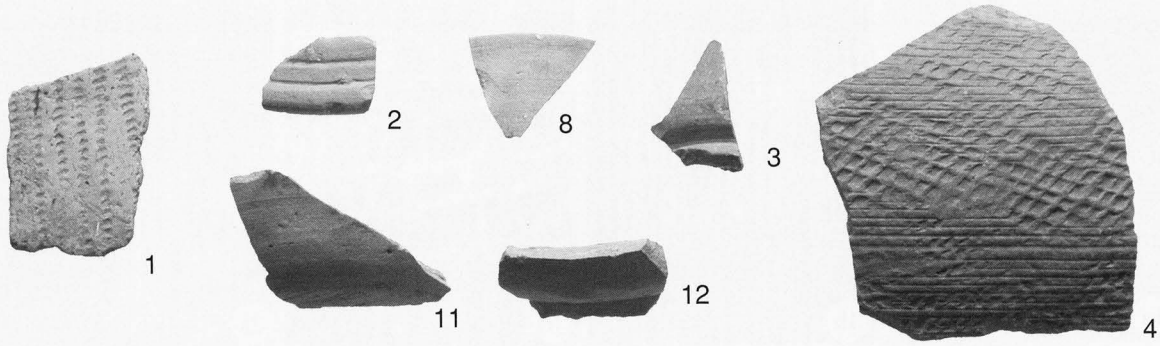

31


30

32

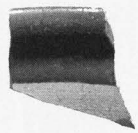
33

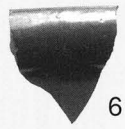

34
35
36
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
15
11
12
13
14


1
2
8
3
4
11
12

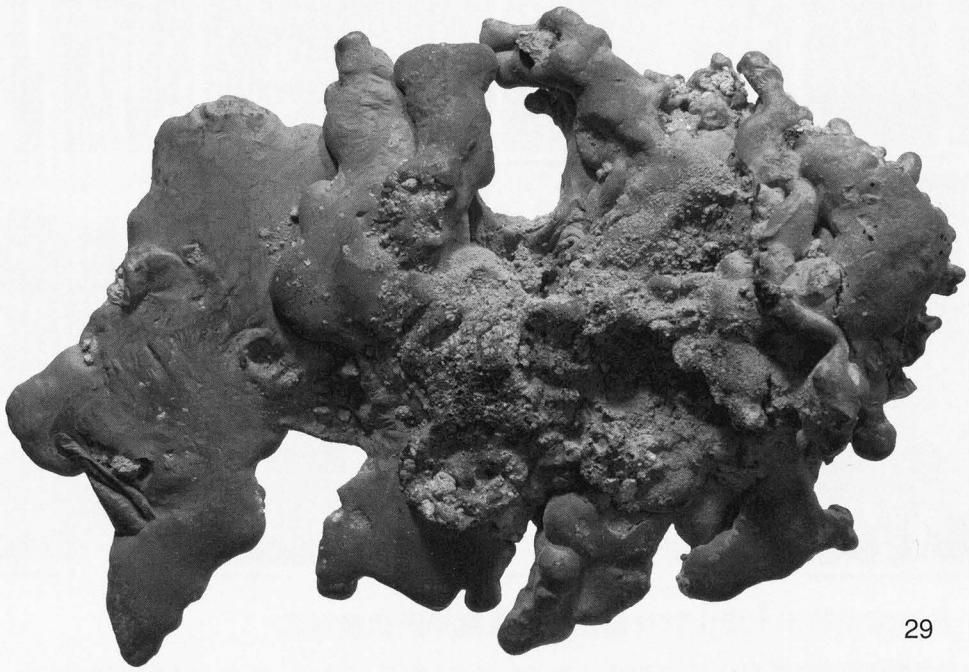
10

9

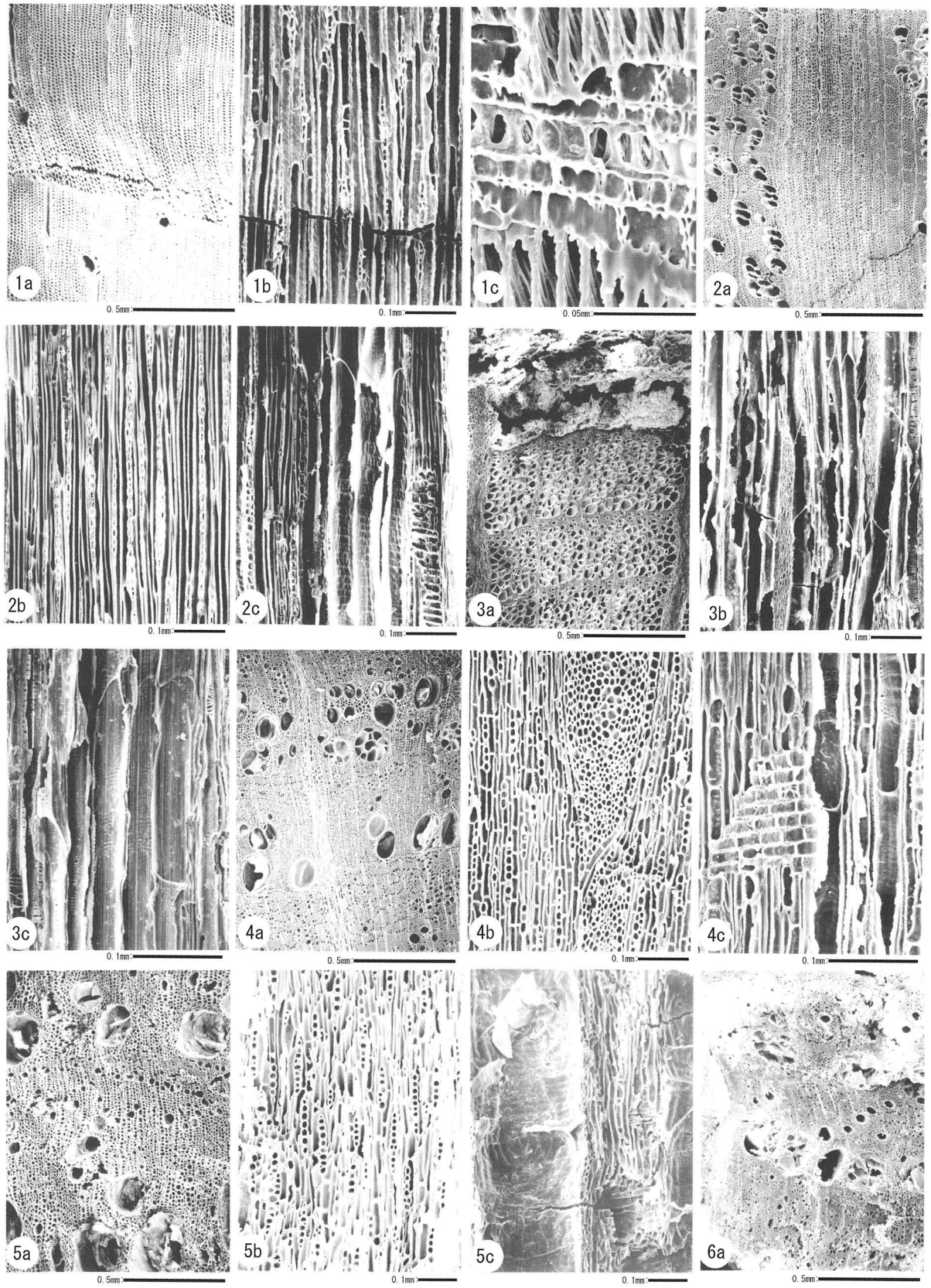

5


6

7


29

図版20

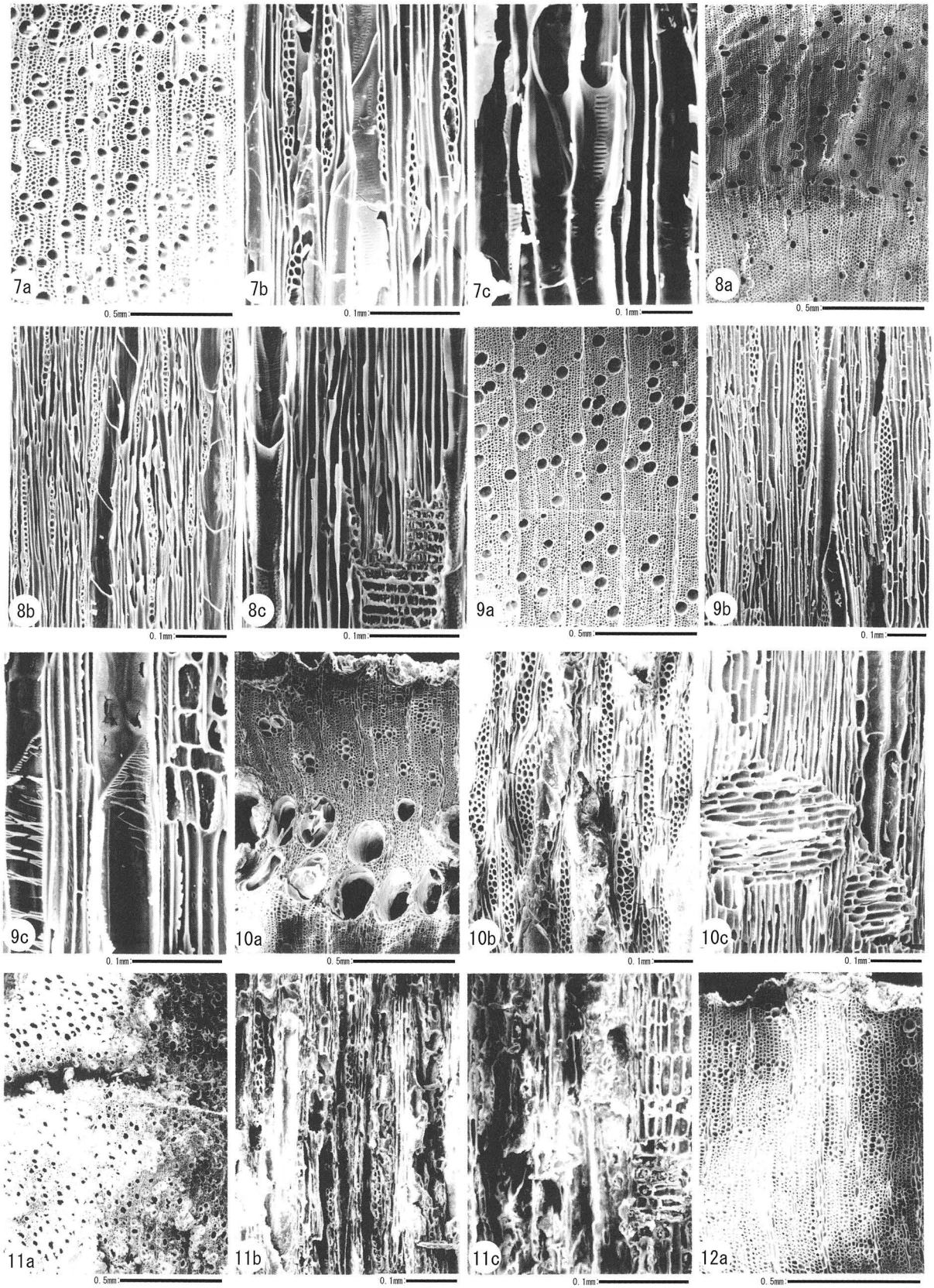


図版 20 池多南遺跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真

1a-1c：マツ属複維管束亜属（(1) 区 SI02P1）　2a-2c：イヌシデ節（No.16）　3a-3c：ブナ属（No.13）

4a-4c：コナラ節（No.14）　5a-5c：クリ（(1 区)SI03P1）6a：コナラ属（クヌギ節？）(1) 区 SI02P14)

a：横断面　b：接線断面　c：放射断面



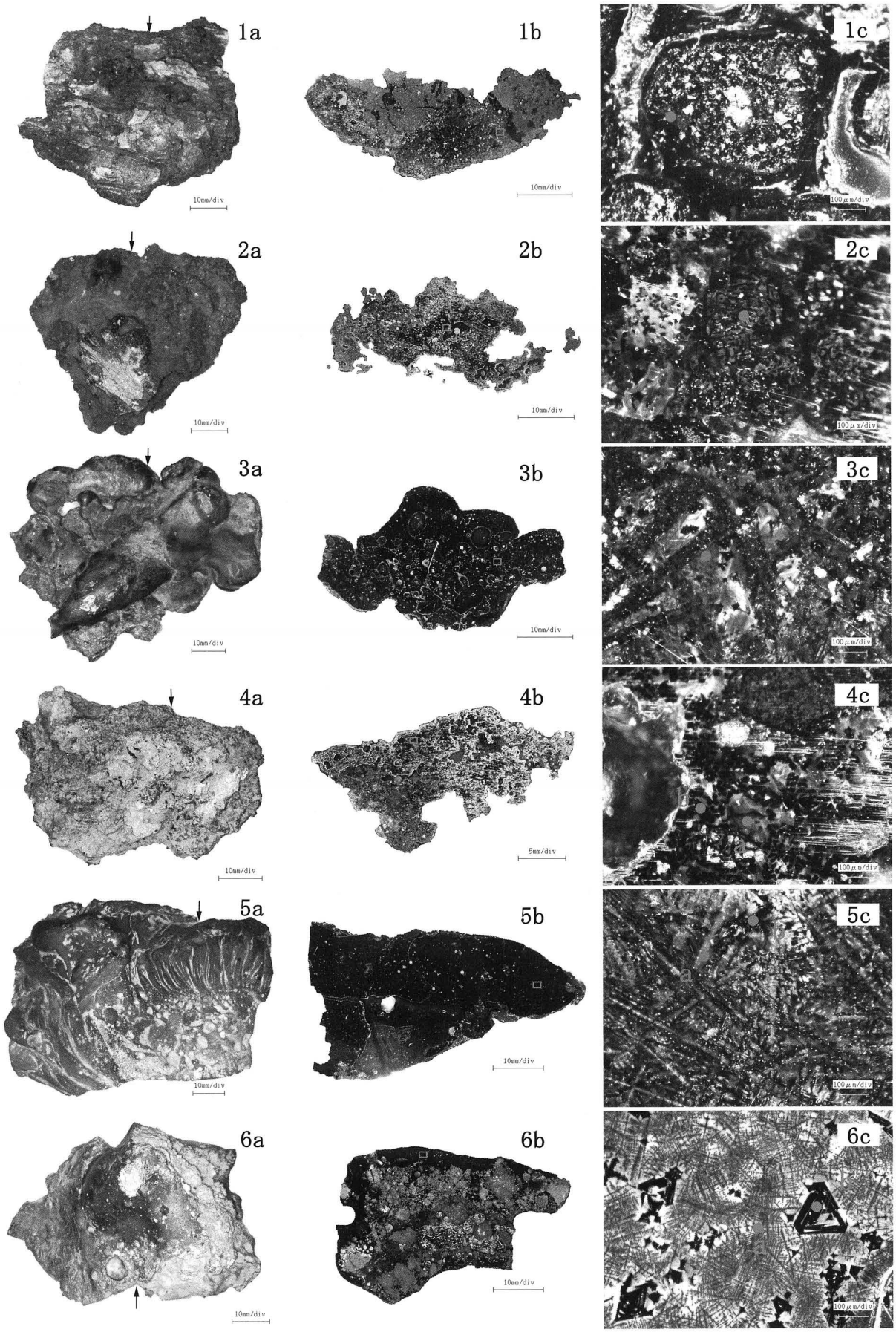
図版 21 池多南遺跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真

7a-7c：モクレン属（No.8）　8a-8c：カエデ属（No.3）　9a-9c：リョウブ（No.6）

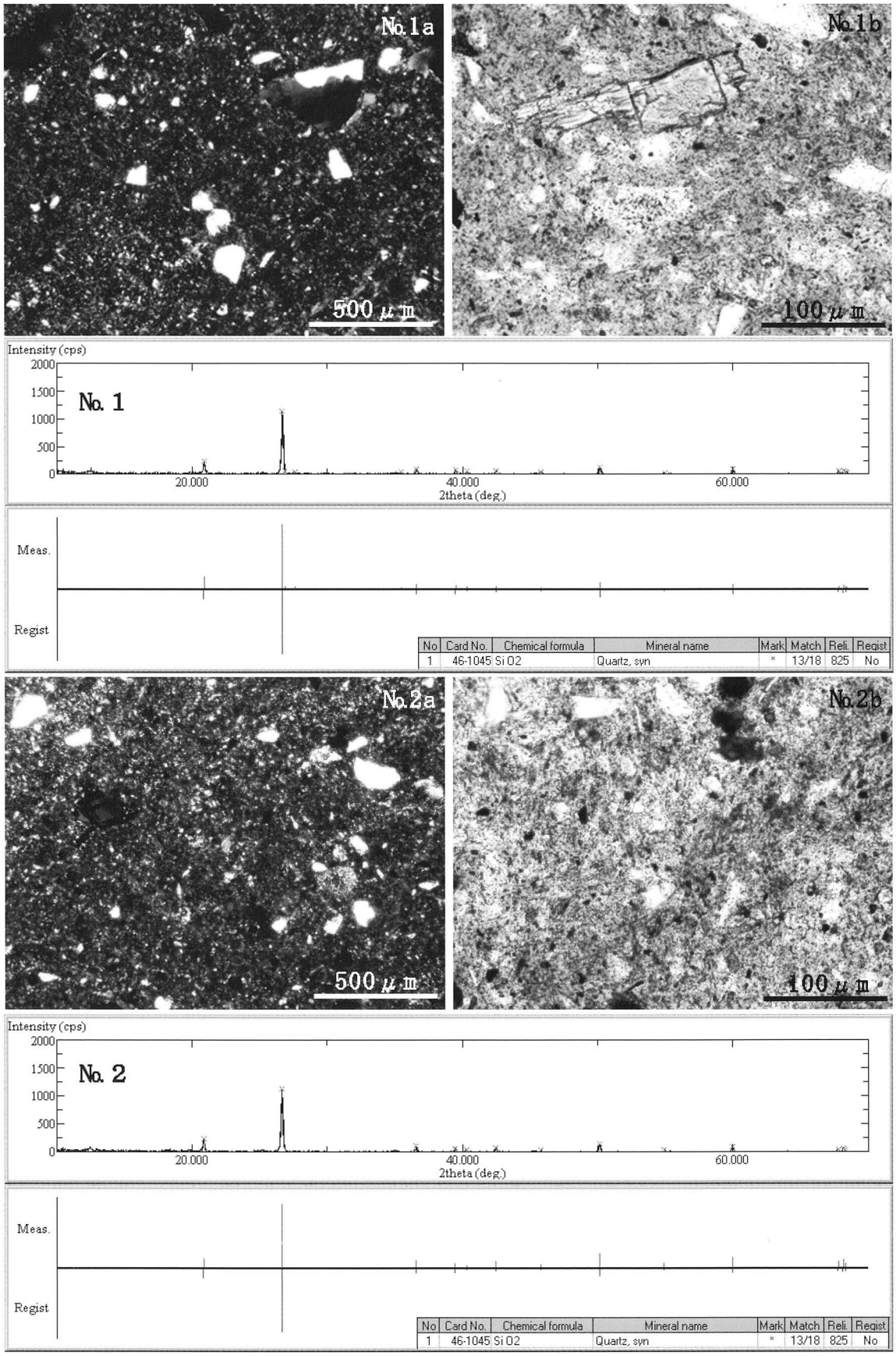
10a-10c：トネリコ属（(1) 区 SI04P1）　11a-11c：散孔材（(1) 区 SI04P1）　12a：環孔材 a（(1) 区 SI04P1）

a：横断面　b：接線断面　c：放射断面

図版22



図版 22．鉄滓試料の外観（a）と切断面（b）および拡大組織（c）とその分析位置
（番号は試料№に対応；外観図の矢印が切断位置を示す）

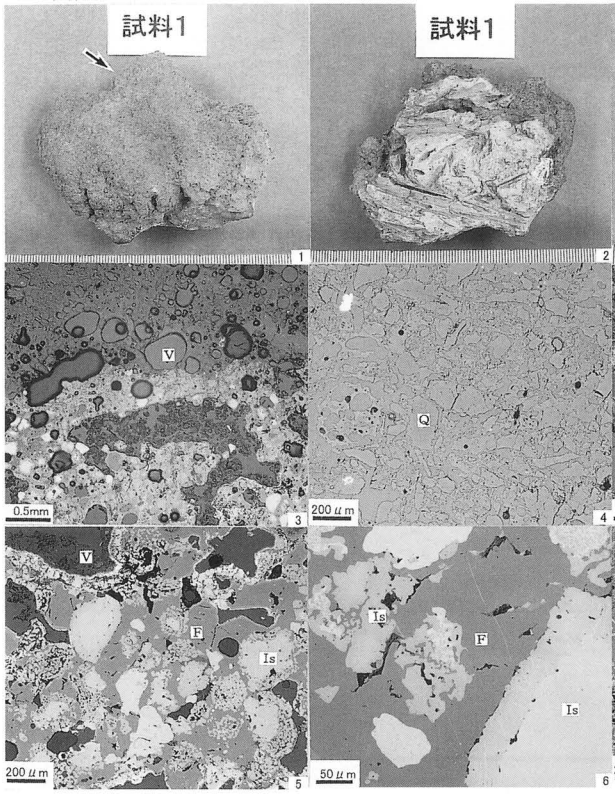


No	Card No.	Chemical formula	Mineral name	Mark	Match	Reli.	Regist
1	46-1045	Si O2	Quartz, syn	*	13/18	825	No

図版 23．住居貼り床粘土の顕微鏡写真とX線回折スペクトル図
（No. 1a・2a；直交ニコル、No. 1b・2b；解放ニコル）

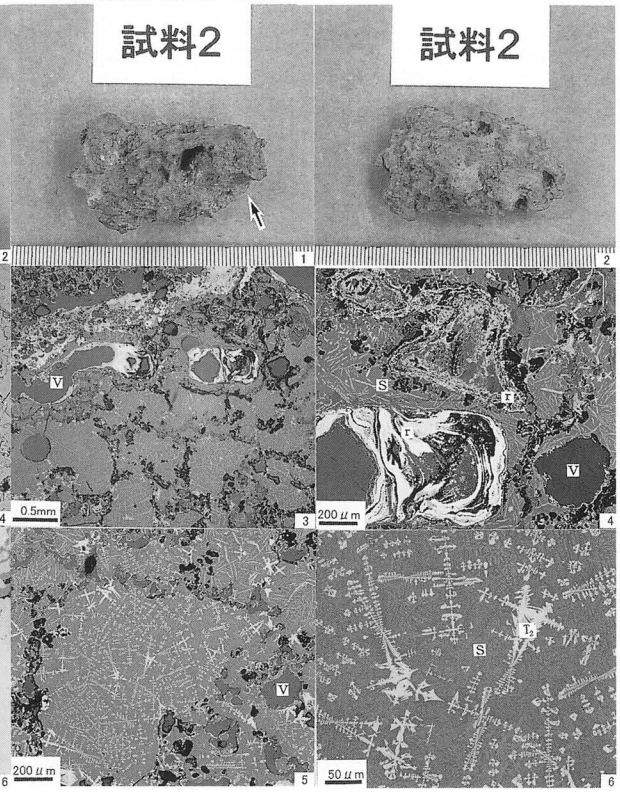
図版24

1 試料No.1の外観と断面マクロ・ミクロ組織



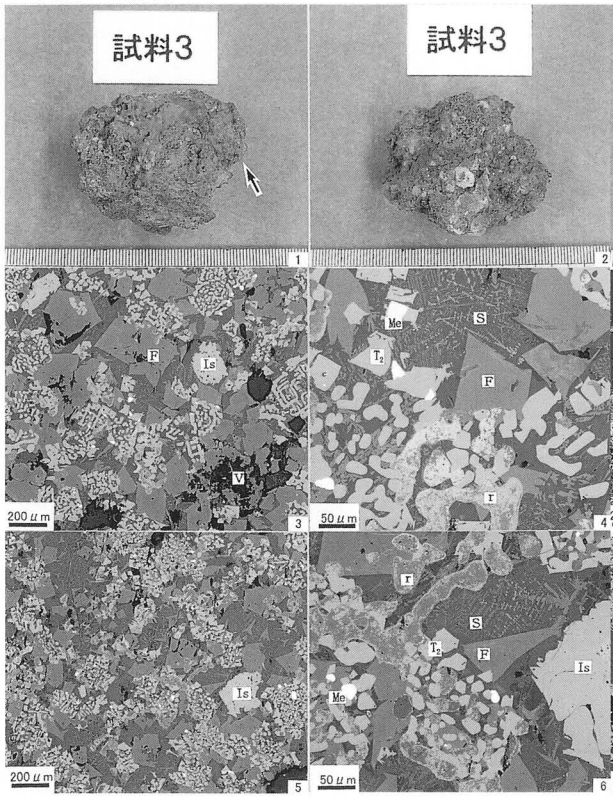
1,2.外観,3.炉壁と付着鉄滓の界面,4.炉壁部ミクロ組織,5,6.鉄滓部の断面ミクロ組織.
Is:砂鉄粒子　F:ファヤライト($2FeO-SiO_2$)　Q:珪石　V:空孔
矢印:調査試料採取箇所

2 試料No.2の外観と断面マクロ・ミクロ組織



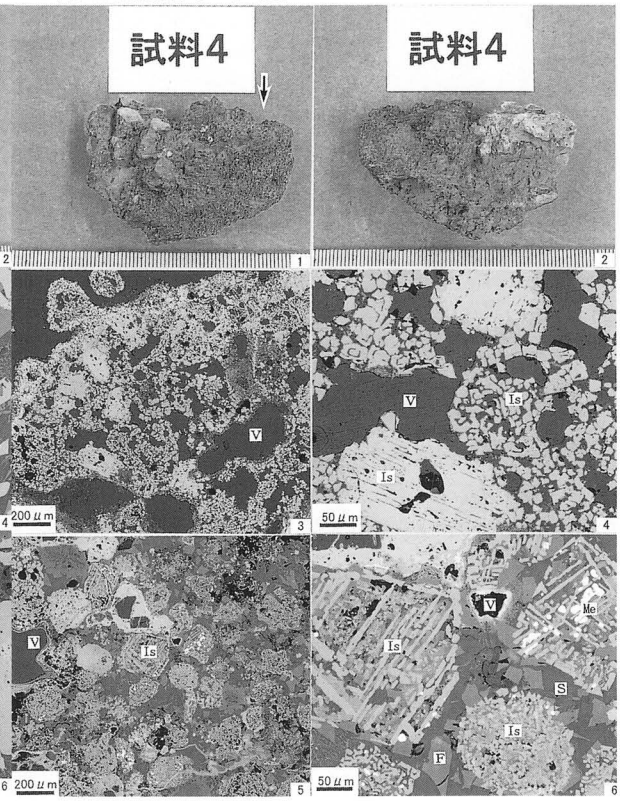
1,2.外観,3,4.炉壁と付着鉄滓の界面,5,6.鉄滓部の断面ミクロ組織.
T_2:チタン化合物($2FeO-TiO_2$)　F:ファヤライト($2FeO-SiO_2$)　S:非晶質珪酸塩(鉄分を多く含む)
r:鉄錆　V:空孔　矢印:調査試料採取箇所

3 試料No.3の外観と断面マクロ・ミクロ組織



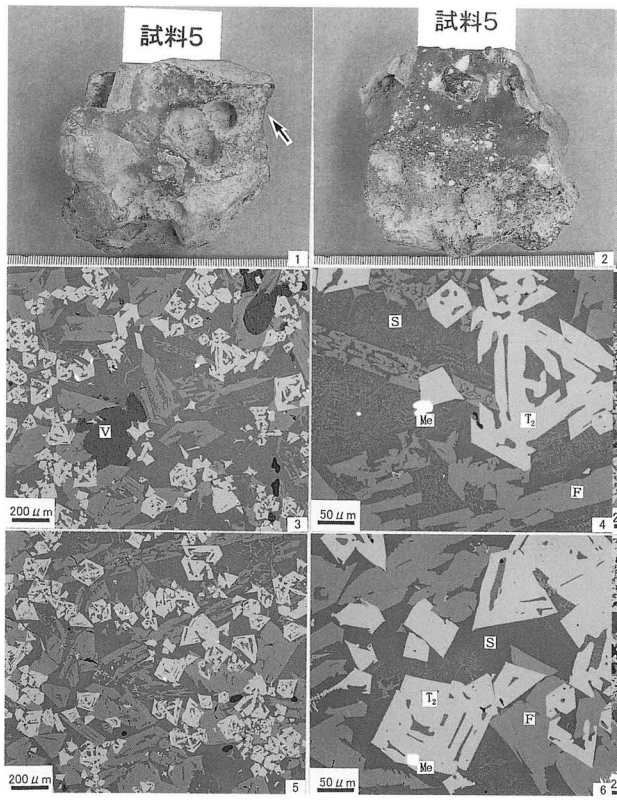
1,2.外観,3~6.断面ミクロ組織.
Is:砂鉄粒子　Me:金属鉄　T_2:チタン化合物($2FeO-TiO_2$)　F:ファヤライト($2FeO-SiO_2$)
S:非晶質珪酸塩(鉄分を多く含む)　r:鉄錆　V:空孔　矢印:調査試料採取箇所

4 試料No.4の外観と断面マクロ・ミクロ組織



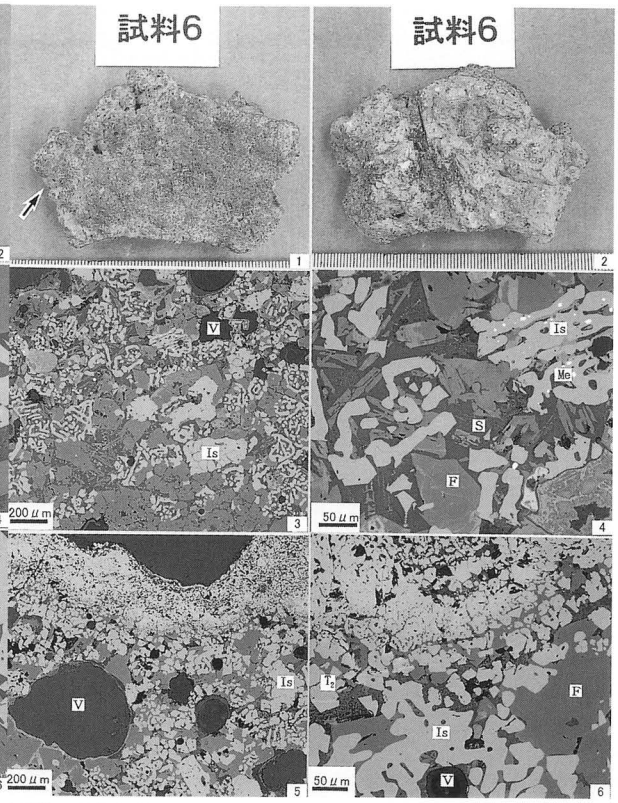
1,2.外観,3~6.断面ミクロ組織.
Is:砂鉄粒子　Me:金属鉄　F:ファヤライト($2FeO-SiO_2$)　S:非晶質珪酸塩　V:空孔
矢印:調査試料採取箇所

5 試料No.5の外観と断面マクロ・ミクロ組織



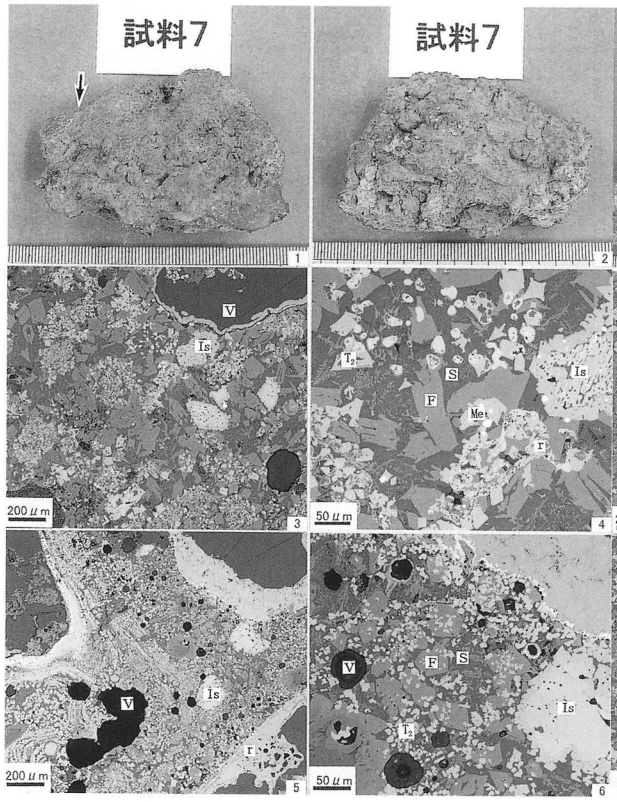
1,2.外観,3-6.断面ミクロ組織.
Me:金属鉄 T_2:チタン化合物($2FeO-TiO_2$) F:ファヤライト($2FeO-SiO_2$) S:非晶質珪酸塩
V:空孔 矢印:調査試料採取箇所

6 試料No.6の外観と断面マクロ・ミクロ組織



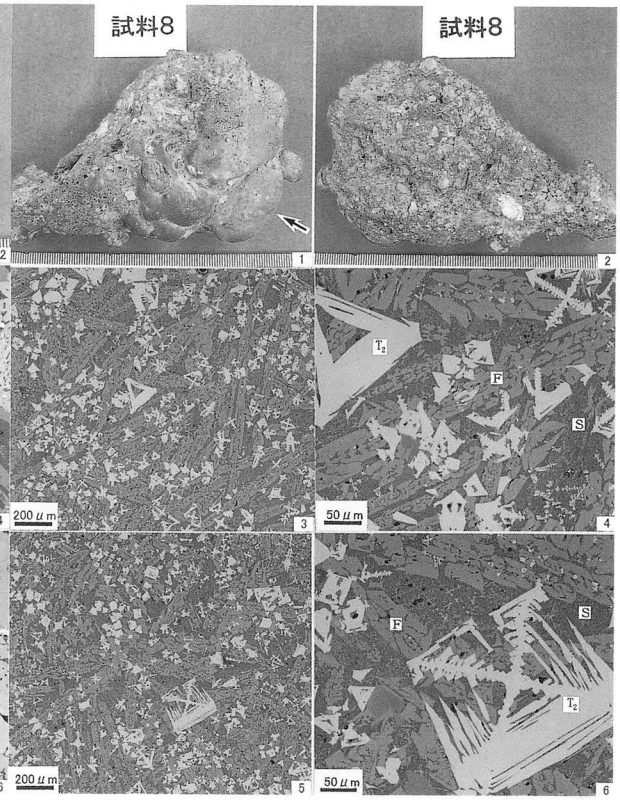
1,2.外観,3-6.断面ミクロ組織.
Is:砂鉄粒子 Me:金属鉄 T_2:チタン化合物($2FeO-TiO_2$) F:ファヤライト($2FeO-SiO_2$)
V:空孔 矢印:調査試料採取箇所

7 試料No.7の外観と断面マクロ・ミクロ組織



1,2.外観,3-6.断面ミクロ組織.
Is:砂鉄粒子 Me:金属鉄 T_2:チタン化合物($2FeO-TiO_2$) F:ファヤライト($2FeO-SiO_2$)
S:非晶質珪酸塩 r:鉄錆 V:空孔 矢印:調査試料採取箇所

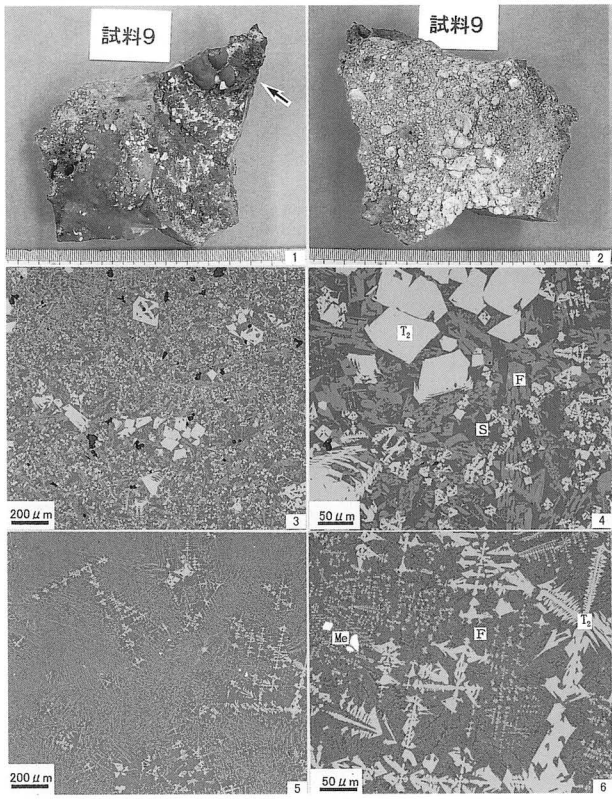
8 試料No.8の外観と断面マクロ・ミクロ組織



1,2.外観,3-6.断面ミクロ組織.
T_2:チタン化合物($2FeO-TiO_2$) F:ファヤライト($2FeO-SiO_2$) S:非晶質珪酸塩
矢印:調査試料採取箇所

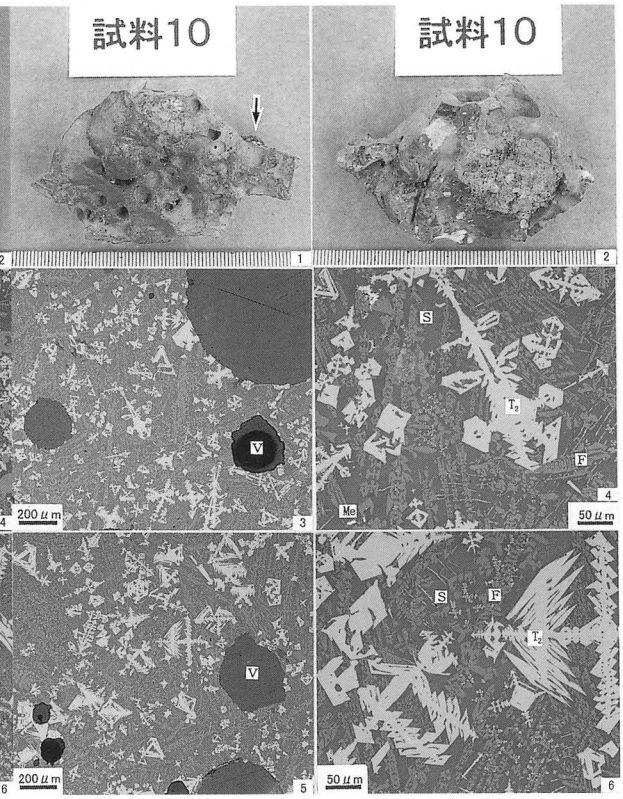
図版26

9 試料No.9の外観と断面マクロ・ミクロ組織

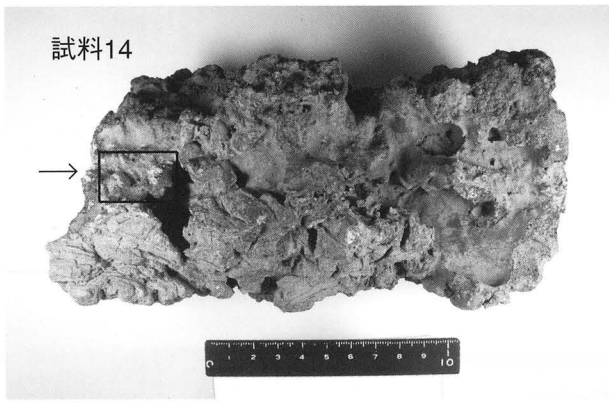


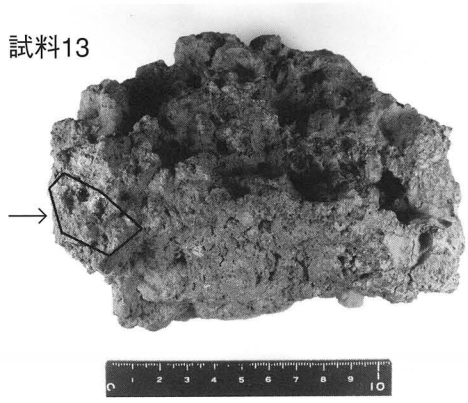
1,2.外観,3-6.断面ミクロ組織.
Me:金属鉄 T_2:チタン化合物($2FeO-TiO_2$) F:ファヤライト($2FeO-SiO_2$) S:非晶質珪酸塩
矢印:調査試料採取箇所

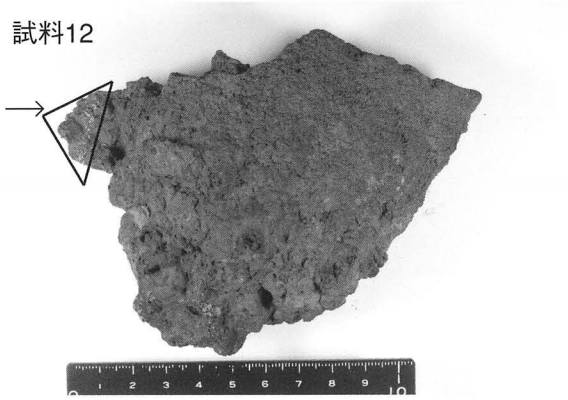
10 試料No.10の外観と断面マクロ・ミクロ組織

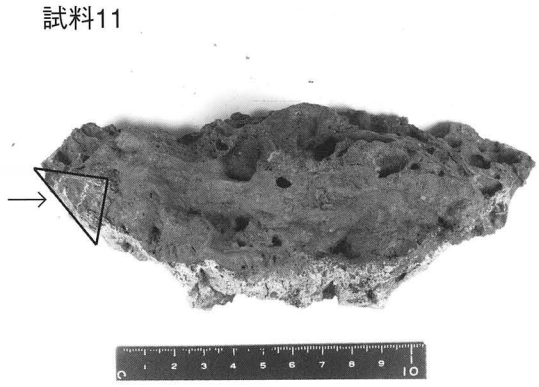


1,2.外観,3-6.断面ミクロ組織.
Me:金属鉄 T_2:チタン化合物($2FeO-TiO_2$) F:ファヤライト($2FeO-SiO_2$) S:非晶質珪酸塩
V:空孔 矢印:調査試料採取箇所









報告書抄録

ふりがな	とやましいけだみなみいせき ・ いけだみなみにいせき　はっくつちょうさほうこくしょ
書名	富山市　池多南遺跡・池多南Ⅱ遺跡　発掘調査報告書
副書名	県営畑地帯総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告
巻次	(8)
シリーズ名	富山市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	141
編著者名	近藤顕子・山崎美和・藤田富士夫
編集機関	富山市教育委員会　埋蔵文化財センター
所在地	〒930-0803　富山県富山市下新本町5番12号　TEL076-442-4246
発行年月日	西暦　2005年　3月22日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 (m²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
池多南遺跡 (いけだみなみいせき)	富山市池多 (とやましいけだ) 796　外 (ほか)	16201	415	36度 40分 26秒	137度 06分 51秒	20040603 ～ 20041008	1,943m²	県営畑地帯総合 土地改良事業
池多南Ⅱ遺跡 (いけだみなみにいせき)	富山市山本 (とやましやまもと) 828　外 (ほか)	16201	608	36度 40分 17秒	137度 06分 46秒	20040906 ～ 20040924	178m²	県営畑地帯総合 土地改良事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
池多南遺跡	集落跡	縄文	竪穴住居・土坑・穴	縄文土器・土偶・打製石斧・磨製石斧・磨石・石鏃・石皿・敲石・砥石・剥片・原石	縄文中期前葉の集落
	生産跡	奈良 平安	製鉄炉・炭窯・焼壁土坑・土坑・穴	須恵器・土師器・鉄滓	奈良～平安時代の製鉄跡
		近世	なし	泥面子・唐津	
池多南Ⅱ遺跡	生産跡	古代	焼壁土坑		

要約

池多南遺跡は縄文時代の集落と古代の生産関連の複合遺跡である。縄文時代の集落は丘陵尾根筋の平坦部に形成され、中期前葉（約5,000～4,500年前）の竪穴住居跡５棟・土坑・穴を確認した。竪穴住居の帰属年代は^{14}C年代測定でBP4,430～4,500の値が得られた。住居出土遺物の時期幅は短く、比較的短期間に営まれた集落と考えられる。集落全体の規模は不明だが、試掘確認調査では周辺に複数の住居の存在が確認されており、丘陵平坦面に広がる集落の様相が明らかとなった。

古代の生産遺構は丘陵斜面～平坦面から製鉄炉２基と炭窯４基を確認した。製鉄炉は奈良時代後半～平安時代（８世紀末・約1,200年前）に営まれた地下部に防湿施設の木炭層をもつ「長方形箱形炉」で丘陵斜面上の平坦面に築かれる。２号炉は北側壁が２枚確認され、２回以上の操業が想定される。炭焼窯は丘陵東斜面の急勾配を利用して構築されている。各遺構の帰属年代は^{14}C年代測定で１号炉：BP1,140、２号炉：BP1,090～1,135、１号窯：BP1,150、２号窯：BP1,250～1,330、４号窯：BP1,230～1,265、５号窯：BP1,130の値が得られている。各遺構の操業時期を分類すると、①４号窯・２号窯→②１号炉・１号窯→③２号炉・５号窯と推移する。試掘確認調査で２号炉周辺から更に２基の炭窯の存在が確認されていることからも、①の炭窯が燃料を提供した製鉄炉は未掘部分に存在し、同一エリア内には最低３基の製鉄炉が存在したと考えられる。

池多南Ⅱ遺跡では土坑１基を検出した。周辺の遺跡における同様の事例から古代（奈良～平安時代）のものと考えられる。

富山市埋蔵文化財調査報告141

富山市　池多南遺跡・池多南Ⅱ遺跡
発掘調査報告書

―県営畑地帯総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告（８）―

2005（平成17）年３月22日発行

発行　富山市教育委員会
編集　富山市教育委員会埋蔵文化財センター
〒930-0803
富山市下新本町５番12号
Tel　０７６－４４２－４２４６
Fax　０７６－４４２－５８１０
E-mail:maizoubunka-01@city.toyama.lg.jp

印刷　越浜印刷株式会社
〒939-8214
富山市黒崎625
Tel　０７６－４２５－０２８３
Fax　０７６－４２９－５３７７